



## 受動態の定義

ポイント	受動態：「目的語を主語に移動」
例文	<i>Tom broke the window.</i> → <i>The window was broken.</i>
TOEIC	重要度は4。この定義から次に紹介していく3つのルールが導き出されるので大切。ただし、この知識自体を問う問題はない。

## 受動態を見たら能動態をイメージ

ポイント	受動態を見たら能動態をイメージする。
例文	<i>The dog was found dead.</i> (その犬は死んでいるのがわかった)
TOEIC	重要度は5。Part5で直接的に使う問題は少ないですが、英文の中でかなりの頻度で頻出します。

## 他動詞なのに目的語ない→受動態

ポイント	他動詞なのに目的語ない→受動態。
例文	<i>The station was reached after four minutes' walk.</i> (4分歩くと駅に到着した)
TOEIC	重要度は5。Part5,6で超頻出。時制の問題と思わせ、ただの受動態の問題ということはよくあります。また、受動態に限らず、過去分詞のところでも使う知識。

## 英語で受動態を使う理由

ポイント	①主語を言いたくない ②主語と目的語を入れ替えたい
例文	<i>The window was broken.</i> (その窓は壊された)
TOEIC	重要度は3。この知識自体を問う問題はない。ただし、これを知ることによって無理して受動で訳す必要がないことを知り、自然と日本語に訳しやすくなる。

## 自動詞は受動態にできない

ポイント	自動詞は受動態にできません。
例文	<i>When the capital city fell, the war ended.</i> (首都が崩壊したとき、戦争は終わりました)
TOEIC	重要度は4。さきの「他動詞なのに目的語がない→受動態」ほどには使わないが、非常に大切なルール。そして、これも、後にやる過去分詞のところで大活躍します。

## 受動態の時制

ポイント	受動態の時制は足し算するだけ。
例文	<i>The cake is being cut by him now.</i> (そのケーキは、今彼によって切られています)
TOEIC	重要度は5。part5.6でも頻出するし、英文中にも頻出するので非常に大切です。